



—— 内科医 千田金吾 医師 ——

毎週木曜日午前に、呼吸器内科を担当しております。研修医時代の榛原総合病院1年と米国留学2年以外は大学勤務でしたので、浜松北病院の外来診療は新鮮であると同時に、とても重要な医療を担っていると認識しています。

■ 物の価値は、使われる頻度で決まる

浜松北病院を利用する方々を見ると「開業医で手に負えなくなった方、開業医よりも設備が整った施設を求める方、しかし大きな総合病院は敷居が高いと感じる方」のようです。従ってこの病院はとても汎用度が高いと言えます。

■ 指がひとつひとつ形が違うのには、大きな意味がある

浜松北病院の目指すところは、ミニ大学附属病院やミニ総合病院ではないことは自明のことです。最強である親指ではないにしても、最も汎用性のある人差し指であることを自慢して良い存在だと思っています。

■ 医療とは結局のところ、人の心である

若い頃は、いろんな知識や手技を会得して、いかに診断や治療をしていくかに腐心していましたが、最近は患者さんが納得できるものが提供できればいいかなと思うようになりました。まだまだ寄り添うことが出来ていませんが……世の中には「なんとなく感じが悪い人」と「なんとなく感じが良い人」がいます。なんとなく感じが悪い人は、決して間違っているわけではないので厄介です。なんとなく感じが良い人を目指しましょう。やっぱり笑顔？挨拶？

■ 組織はシステムによっては変わらない
変えるのは人である

当院も歴史があり、それに伴ってシステムが完成しています。より良い医療を提供するためには、システムの改善も大事です。しかしながら何よりもやっぱり人だと思います。もっと大きな病院のスタッフの冷たいことと云ったら……極論ですが、電子カルテにしたために医療者の心が削られるのなら、紙媒体のままでもいいんじゃないかと……スタッフの皆さん、ありがとうございます。

■ 伝統は革新と共にあり

もちろん、システムは古いままで良いわけではありません。ここでいうシステムとは、ハード面ではなくソフト面です。医療技術、安全管理、運営方法などです。伝統ある帝国ホテルは常に革新を目指しており、その結果、過去にとらわれない斬新なバイキング料理なども導入できたとのこと。発熱患者さん(風邪様症状の患者さん)を診るスペースが欲しいな……

千田 金吾 医師

医療法人 豊岡会 理事長
浜松医科大学
内科学 第二講座 前准教授
専門は内科学、呼吸器内科



■ 当院での診療時間
毎週木曜日 内科(呼吸器)

■ お詫びと訂正 ～ 春号の医療コラムについて ～

前号(第57号)の医療コラムについて、
執筆者情報の記載がありませんでした。

第57号 医療コラム
「認知症に対する誤解や偏見を無くしていきませんか」
脳外科 小松 裕明 医師

ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、
ここに訂正いたします。



田んぼの中に星2つ

新型コロナウイルスについての報道を目にしない日はありません。感染の恐怖、経済への影響等…不安で気が滅入る毎日です。3密を避けるために、行動も制限されストレスも溜まりますよね。こうして原稿を書いていると、この時期の暗く不安な気持ちが表れてしまいます。嫌な事は少しでも忘れたいので、つい先日見つけた「綺麗なもの」についてお話ししたいと思います。

仕事終わりの暗くなった帰り道「汗かいたし、今日はビールかな…」などと考えながら車を走らせていると、通りに面した田んぼに、蛍が2匹 青く小さな灯りを交互に点しておりました。車を脇に停め、まだ温かいアスファルトにペタンと座り、しばし蛍の鑑賞会。まさかこんな所で見られるとは…久しぶりに見る蛍は綺麗でした。蛍を見る度に幼い頃の思い出がよみがえります。当時の河川は泡だらけ。海底にはヘドロが積み、生き物を遠ざけます。日差しの強い日には光化学スモッグ発生を知らせるサイレンが鳴り響き、校庭で遊んでいても教室に逃げ込む事もありました。開発優先の汚れた時代です。私の育った借家の周りの側溝も、ボウフラが湧く澱んだ水でした。当然 蛍は育ちません。近くにあった四ツ池公園でも見る事は出来ませんでした。蛍を初めて見たのは、小学2年生の夏。龍山村の林道でした。祖母の家で遊び疲れた私を母が揺り起こします。母が指し示す先には、真っ暗な山の中を舞う蛍の灯り。車の中で「捕まえて…」と駄々こねたのを覚えています。

今日 産業も農業技術も飛躍的に発達。加え自然環境を破壊しない技術も確立してくれたおかげで、水も空気も当時より綺麗になりました。蛍が見られるという事はその証ですね。もうすぐ七夕です。最近、心なしか空が澄んでいるような気がします。天の川も見られるといいですね。それに刺激された、おびただしい蛍の乱舞が見られたらな…。そう思う今日この頃です。

管理栄養士 青山



デイサービス きたぞうウォーク

平成29年5月15日に開設し3年が経過したきたぞうウォークです。

利用対象者は、介護保険で要介護・要支援、もしくは事業対象者と認定された方です。きたぞうウォークは「歩く」という英単語「Walk」が由来のデイサービスとなります。名前の通り「Walk＝歩く」ことをコンセプトにした機能訓練を実施しています。

機能訓練は、機械に頼るのではなく、ご自身で動くことを中心に行っています。日常生活の中で行う「立つ」、「歩く」といった、日頃の何気ない動作を運動として行っていくことで、歩行に必要な体力、筋力、バランス能力の向上ができるよう運動の提供をしています。運動は1人で行うのではなく、4人1組で実施をしますので、皆さん一緒に行うことで楽しみながら運動が行える環境にもなっています。

従来の午前の部(10:10～13:15)に加え、令和2年6月1日より、午後の部(13:30～16:35)の新規利用者様の受け入れを開始しています。午前中の営業は昼食付きで、運動時間をグッと凝縮した内容で、午後の営業はおやつ付きで午前の営業よりも比較的ゆっくりとした時間での運動となっています。午前と午後で運動内容は変わりませんが、利用者様の状態に合わせて利用時間を選択していただければと思います。運動についていけるかなどと不安な方でも、理学療法士が利用者様の状態に合わせて運動を調整させていただきます。

ご自身のペースにあった運動を実施してみませんか。最近、歩く機会が減って、足腰が弱ってきたなどということがありませんか。利用者様に安全に、自信を持って“歩く”事が提供できるように努力してまいります。デイサービスにご興味のある方、利用するのに不安な方は随時、見学もお受けしておりますので、お気軽にきたぞうウォークまでご相談下さい。

きたぞうウォーク 横井

【営業時間】

月～金(祝日も営業、年末年始は休業)
午前の部 10:10～13:15 (昼食付 650円)
午後の部 13:30～16:35 (おやつ付 100円)



地域包括ケア病床で生け花

レクリエーションの一環で、患者さんたちが、お花のアレンジメントを楽しみました。



看護部より 介護職員 募集中!

入院患者さんのお世話を中心とした看護補助のお仕事です。
経験・資格 不問
就業時間等ご相談ください。

☎435-1111 看護部長室まで
ホームページでも受付中です



◇遠州鉄道
積志駅下車
徒歩15分

◇遠鉄バス
JR浜松駅
10番バスターミナル
77 労災・東海染工
イオン市野行き
→浜北病院下車

〒431-3113 静岡県浜松市東区大瀬町1568番地

TEL (053)435-1111(代表)

FAX (053)433-2700(代表)

TEL (053)435-1522(地域医療支援課)

FAX (0120)435-351(地域医療支援課)

E-MAIL seisyoukai@hamamatsu-kb.or.jp

ホームページ <http://www.hamamatsu-kb.or.jp>



翔き

はばた

2020
夏号
No. 58



きたぞうウォークでの機能訓練風景
この夏から午前と午後の2部制になります



医療法人社団 盛翔会
浜松北病院

大瀬介護保険センター 訪問看護ステーション大瀬
訪問リハビリテーション大瀬 おおせデイサービスセンター
おおせ第二デイサービスセンター きたぞうウォーク

基本理念

思いやりを基本とした 愛情ある医療と福祉を実現する